

## ◎元気アップメニューを探そう◎

元気チェックカードで今の状態を把握した後、もう少し元気になるために役に立つものを児童生徒と一緒に探してください。

今、この場でできる活動は、時間を区切って取り入れて試してください。この場でできない場合は、そのことについて話を広げてみてください。話すことで元気が出ることもあります。

1～2回は日本語学習がほとんどできない場合があるかもしれません。同じ状態が続くようであれば窓口となる教員、担任に相談しましょう。

### 時間の使い方

児童生徒の様子に合わせて、5分、10分、15分等時間を区切って活動しましょう。活動しながら日本語学習を部分的に取り入れる方法もあります。

例1)

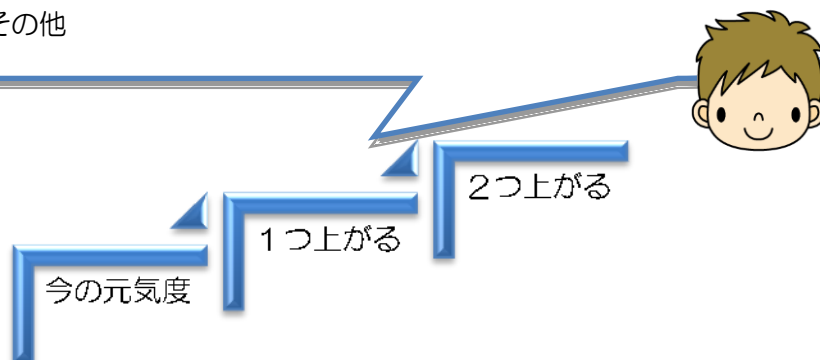


例2)



からだところを今よりも元気にしてくれるものは、何でしょう？

- ①からだを動かす。
- ②話をする。
- ③好きなことをする。
- ④ゲームをする。
- ⑤その他



<活動例>

児童生徒プロフィール票の趣味・特技を参考に、また教室にあるものを活用するなどして、元気度が1つでも上がることを探してください。

【からだを動かす】

- 教室外を探検（窓口教員の了解を得る）。
- 腕相撲、指相撲
- ゴム飛び
- けん玉
- コマ
- 風船遊び（床に落とさないようにして遊ぶなど）

【話をする】

- 児童生徒が「好きなこと」について
- 児童生徒が「最近、気になっていること」について

【ゲームをする】

- カードゲーム（かるた、トランプなど）
- ボードゲーム（すごろく、将棋、囲碁など）
- じゃんけん（あっち向いてホイなど）

【その他】

- 絵本
- 音楽（子どもが好きな音楽など）
- 歌（子どもが好きな歌など）
- 折り紙